

「コミしんまっやま」

地域とともに

松山地区コミュニティ振興会
連絡協議会
会長 齋藤 吉男

今年度四月に三つの小学校が統合し、松山小学校が開校しました。学校に伺う機会があり、様子を拝見するとたくさん笑顔が見られ充実した学校生活を送っていると感じました。

それぞれのコミュニティ振興会の活動もスタートしています。六月四日に行われた運動会も全地区で屋内となりましたが、異世代の交流が図られたのではないかと思います。

さて、四つのそれぞれのコミュニティ振興会事業の充実が「地域づくり」「人づくり」に繋がり、そこで生まれてくる地域課題をどのように解決するかが大切な事だと思います。

地域全体の連絡協調の場として松山地区コミュニティ振興会連絡協議会があります。互いに地域を高めるた

第二二号（平成二九年六月一六日発行）
発行：松山地区コミュニティ振興会連絡協議会
住所：酒田市山寺字見初沢一六五
電話：〇二三四（六一）二九三三

めにどのような取り組みが必要なのかを話し合っていきたいと思えます。

様々な課題がありますが、松山地域の伝統と歴史を継承しながら、時代に合った地域づくりを推進していきたいと考えておりますので、今後も各コミュニティ振興会にご理解とご協力をお願いいたします。

総合支所と地域の課題

松山総合支所

支所長兼地域振興課長

遠藤 裕一

現在、松山総合支所に勤務する職員は二九名、市行政の窓口としてまた地域振興のために日々努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、一四年ぶりに当地で勤務し

感じる松山地域の一番の課題は、相も変わらず、人口減少と少子高齢化だと思います。全国的な課題でもあり、最も難しいものでもあります。人口は平成一七年の合併時から一〇〇人以上減り四三三八人に、高齢化率は、施設入所者を除いても三八％、昨年一年間に生まれた子どもの数は、一二人です。これが、現実なのです。

ただ手をこまねいているわけにはまいりませんので、酒田市では、子育て支援策として、昨年度からは、保育園・認定こども園における保育料を大幅に軽減したり（同時入所要件を廃止して二人目以降を安くした）、子どもの医療費無料化も中学生にまで伸ばしています。このような経済的負担の軽減による効果が期待されます。

松山総合支所の事業でも様々な事業を実施していますが、そのひとつが、「いきいきくらぶ」活動です。毎月一回、高齢者の健康づくりを目的に体操や昔の遊びやみんなで歌を歌っ

たりして和やかに過ごす時間を持っています。バス送迎もありますので気軽にご参加願います。大変好評で六〇人以上の申し込みがある事業です。

また、「松山の宝推進事業」として松山の風致を守り・学び・活かすその魅力を発信し、地域の活性化を目指す取り組みを、また南部地区では、地域おこし協力隊と連携し小学校跡地等を活用した地域づくりの検討も進んでいるところです。

なにはともあれ、松山を元気に暮らしやすい地域していくには、コミュニティ振興会をはじめとした、この地に住む皆様と一緒に考え、行動することが肝要だと考えます。

